

ザヴァッタレッコ (Zavattarello)

ザヴァッタレッコは「最も美しい村」で推薦されている人口が 1000 人余りの小さな村です。ここは、ヴァルツィと同じくロンバルディア州パヴィア県にあるのですが、エミリア・ロマーニャ州ピアチェンツァ県のボッピオが直ぐ近くです。ザヴァッタレッコは、ヴォゲーラからバスで 50 分にあるヴァルツィでバスを乗り継いで 30 分のところですが、ヴァルツィからのバスの本数が少なく帰りは夕方までヴァルツィに戻ることが出来ません。従って、ザヴァッタレッコから 2 時間かけてパヴィアまでバスで戻らなくてははいけません。距離的には近いのですが、非常に便利の悪い田舎の村です。

この村はヴァルツィとは異なり山の上にあります。この山の麓はティドーネ溪谷で、この川の名は **Torrente Tidone** であり、この川も山々に挟まれた溪谷にある上流の川なのです。ヴァルツィからのバスはいきなり山を登り、更に溪谷と山を越えて走ることになります。生憎の天気でしたが、山の上は見晴らしもよく葡萄園と周りの山々が見渡せます。遠くに見える頂上が角ばっている 2 番目に高い山がザヴァッタレッコであることは直ぐにわかりました。角ばった頂上が城であることも、近づくとにはっきりとしてきます。天気がよければ、もっと素晴らしい景色でしょう。

ザヴァッタレッコの歴史は 10 世紀に、オットー一世がこの地をボッピオの聖コロンバーノ修道院に与えたことに始まるようです。12 世紀にはピアチェンツァに支配が移り、13 世紀にはここに難攻不落の城が建てられましたが、それでもこの地には戦いが絶えなかったようです。しかし、14 世紀後半にヴィスコンティ家の系統である Jacopo Dal Verme がこの城を支配してからは、1975 年に村に引き渡すに至るまで Verme によって維持されてきました。従って、この城は、第二次世界大戦によるダメージ以外は、大きな改修もなく、中世の姿がそのまま今日まで維持されています。

バスは、ザヴァッタレッコの村の入口でおろしてくれますが、わざわざ、山の上にある城の全景を眺めるために村から離れて行くと、程なく小高い丘がありそこに絶景スポットがありました。その丘には、16 世紀に建てられ 2000 年に改築されたザヴァッタレッコの教区教会が建っています。



村の入口に戻ると、そこは大きな広場となっていて、15 世紀に建てられたロマネスク建築のサン・ロッコ礼拝堂（今は庁舎となっています）と石造りの大きな建物で取り囲まれています。この広場だけ見ていると、とても人口が 1000 人にも満たない村であることが信じられません。どんな小さな村でも立派な住民の憩いの場があるのです。これが、イタリアですよ。



広場の一角に、ここからが「最も美しい村」ですとパネルが出ていて、いよいよ、古い村に入ります。この古い村は、この広場から城への登り口となっている山の斜面にあるのです。複雑に入り組んだ石造りの民家は、正に、城の山に寄生しているとの表現が妥当です。



村の石畳の道は直ぐに途切れてしまい、階段と登山路となってしまいます。城への標識はなく、階段を上がっては民家の入口で行き止まりとなり、何度も間違えながら、それでも小さな村ですので、程なく城に到着です。そこには、いつの間にか観光客が 20 人ほど来ていました。ここまで登ると、山の上からの景色も開けてきます。また、天気の良いのが残念な気持ちが持ち上がってきますが、こればかりは仕方ありません。それでも、周りの緑は癒しの気分を十分に与えてくれますので、今日は、

これ以上の贅沢を望んではいけないのでしょうか。城の中に入るには、20人以上の団体で、事前の予約が必要となります。それも、日曜日以外は午後2時半からなので、まったく不親切です。まだ、観光で食べていくことは考えていない村なのです。



ザヴァッタレッコには、ヴァルツィからバスに乗り 30分で料金は 1.65 ユーロです。但し、上記にありますように、午後は夕方 5 時過ぎまでヴァルツィ経由でヴォゲーラまで戻ることが出来ません。このことは事前に調べていてわかっていたのですが、親切な運転手さんが、ヴァルツィを発つ前に、一生懸命に慣れない英語を駆使して教えてくれました。

従って、戻りは、午後 2 時 25 分発のバスに乗ってパヴィアまで出るようになります。ザヴァッタレッコからパヴィアまでは所要時間 2 時間の長旅で料金は 4.2 ユーロとなります。安いですね。皮肉にも、パヴィアに向かうバスに乗ったらすぐに空に晴れ間が出てきました。バスは、幾つもの山を越え、幾つもの葡萄園とワインの街を過ぎて、パヴィアへと進みます。パヴィアの街に入ると、空は完全にきれいに晴れわたり、街のテチーノ川にかかるコベルト橋の脇を通って駅に向かいました。コベルト橋の直ぐ近くに見えた大きなドゥオモのドームはまだ改装中でカバーがかかっていました。

パヴィア駅には 4 時半に到着し、4 時 35 分の列車でロゴレドに向かい、5 時前にロゴレドに到着です。要するに、距離的には、それほど遠くに行った訳ではなかったのです。それでも、ミラノに程近いが取り残されたいような田舎を十分に堪能することが出来ました。

この日は、ロゴレドからヴォゲーラに出て、ヴァルツィに入り、最終目的地であるザヴァッタレッコまで来て、帰りにはパヴィアに出ましたので、最終的には 4 カ所の街や村を訪ねることになりました。1 日で訪ねた今まででの記録を塗り替えてしまいました。